

進路通信



第6号 令和7年12月24日
東京都立武蔵台学園
校長 金子 猛
進路指導部

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。
冬休みが始まります。長期休暇中は不規則な生活になりやすいです。生活のリズムが崩れないよう、時間を意識しながら年末年始をお過ごしください。

第6号では、各学部の仕事体験や職場見学についての様子を中心に掲載いたします。

小学部3年 技能主事仕事体験

ねらい

- (1) 校内の環境を整備してくださっている技能主事を知り、感謝の気持ちをもつ。
- (2) 技能主事の仕事の内容を知る。
- (3) 技能主事が行っている仕事を体験する。



11月11日(火)に、技能主事からお花(パンジー)の植え方について教わり、仕事体験をしました。事前学習で技能主事が学校でどのような仕事をしているのかを学び、体験当日はとても意欲的に取り組んでいました。

まずは技能主事に見本を見せてもらい、その後、実際にプランターと通用門横の花壇への植え替えを体験しました。「よろしくお願いします。」「ありがとうございます。」を上手に伝えられている様子や技能主事の説明や助言をよく聞いている姿が見られました。

通用門横の花壇近くを通る機会がありましたら、是非3年生の仕事の成果をご覧ください。



中学部1年 就業体験



ねらい

- (1) 身近な仕事の内容を見たり、仕事に対する心構えを聞いたりして、働くことについて興味をもつ。
- (2) 家族に頼まれた買い物をするこゝで、スーパーマーケットで品物を選んで購入する方法を体験したり、買い物かごの扱い方、支払いの方法等買い物に係る一連の手順を理解したりする機会とする。

事前に、「サミットストア府中西原店」の店長による出前授業がありました。サミットストアについて、食育について学びました。事前学習をしたことで、生徒たちは当日がより楽しみになりました。また、お話していただいたことを当日直接見ることができ、生徒たちの理解も深まりました。

11月12日(水)スーパーマーケット「サミットストア府中西原店」に行きました。売り場やバックヤードなどの店内見学と買い物体験をしました。

売り場の説明では、サミットストアが工夫していることなどを学びました。説明の中で、青果売り場の野菜や果物は、色鮮やかに見えるように配置に工夫しているとありました。そのような工夫に生徒たちは驚いていました。

バックヤードの見学では、普段見ることのできないスーパーの裏側を見ることができ、生徒たちは大喜びでした。鮮魚室では、加工前の魚を見せてもらい、その迫力に大興奮でした。買い物体験では、ご家庭から依頼された商品を選び、全員がセルフレジでの支払いに挑戦しました。緊張しながらも、画面の操作を見て、一人で支払いをすることができました。終わった後は、みんな笑顔が溢れていました。

当日、従業員の方々は、生徒一人一人に励ましの言葉を掛け、安心して就業体験を行うことができました。スーパーマーケットの仕事内容や、接客の仕方などを学び、貴重な時間を過ごすことができました。

〈買い物体験の様子〉



〈バックヤード見学の様子〉



〈セルフレジの様子〉



中学部2年 就業体験



ねらい

- (1) 職場見学・作業体験を通していろいろな職業や職業生活、進路に関心をもつ。
- (2) 公共交通機関の利用や外食する経験を通して、進路や将来の生活について意識したり考えたりする機会とする。

10月31日(金)立川福祉作業所で就業体験を行いました。障害福祉サービス(生活介護・就労継続支援B型・就労移行支援)を行う立川福祉作業所は、立川駅から徒歩10分以内と好立地であり、施設内は広く、多くの利用者の方で賑わっていました。

2チームに分かれて見学、体験、パン購入を経験しました。見学はエプロンやタオルを洗濯する部門、菓子の箱折り部門、チラシの袋詰め部門、病院から委託されたレントゲン写真と封筒の仕分け部門、その封筒を破く作業をする部門、パン製造部門、それから今年度から新しく試行されていたパソコンの解体作業部門の作業の様子を見学しました。「なぜみんな帽子をかぶっているの?」ときちんと衛生管理された作業の様子を見て、驚く生徒がいました。

体験は、ソフトクリームのコーンを重ねて箱詰めするのに必要な仕切りの組立に挑戦しました。一枚の紙の中央に、もう一枚の紙を差し込んで、十字に組み立てます。「難しいなあ」といていた生徒がいましたが、枚数を重ねてできるようになると「もっとやりたい」と習得できた喜びを感じている様子でした。

最後はパン工房の見学をしました。製造したパンは併設されたパン屋さん「BAKUBAKU」で販売しています。1人500円以内で好きなパンを選んで、支払いをしました。良い緊張感を保ちながら見学していましたが、一方でお土産を購入する頃には表情も和らいでいました。充実した時間を過ごすことのできた就業体験となりました。



施設内見学



組み立て体験



パン購入



一列で移動

高等部1年 進路見学



11月14日(金)に、進路見学を行いました。

ねらい

- (1) 実際の進路先(企業・福祉施設)を見学し、様々な仕事や活動があることを知る。
- (2) 働くための態度や心構えを学習する。
- (3) 公共の場でのマナーを身に付ける。

1グループ (生活介護)	国分寺市障害者センター 生活介護 太陽	
2グループ (生活介護・B型作業所)	社会福祉法人けやきの杜 ワークセンター さくら・希望園	
3グループ (B型作業所・就労移行支援事業)	午前: Starry sky train 合同会社ことのは	午後:株式会社ウェルビー ウェルビー府中駅前センター
4グループ (企業、就労移行支援事業所、)	午前: ブリヂストンチャレンジド株式会社	午後: チャレンジドジャパン立川センター



進路見学では、様々な仕事や活動があることを知り、具体的に働くイメージをもてた生徒が多くいました。

事後学習では、感謝の気持ちを込めて丁寧にお礼状を書きました。

保護者向け進路講演会について(お知らせ)

11月にお知らせいたしましたとおり、進路講演会を行います。

日時 令和8年1月30日(金) 10時から12時(予定)

場所 本校 1階 多目的ホール

講師 「親なきあと」相談室主宰 行政書士・社会保険労務士 渡部 伸 様

内容 『障害のある子の「親なきあと」～親のいるあいだ』の準備』(仮)

高等部卒業後の「暮らしとお金」をイメージできる情報提供や「親なきあと」の課題を「備えるため」に今からできることについて、ご講演いただく予定です。

参加申し込みは下記の二次元コードか、URLより**令和8年1月21日(水)まで**にお申し込みください。

【申し込み用二次元コード】



【申し込み用 URL】

<https://forms.office.com/r/bPHuFG3SfG>

※当日は、スリッパ、外履きを入れる袋をご持参ください。ご協力お願いいたします。

よろしく願います





新規事業所のご紹介

国分寺市に就労継続支援A型事業所が開所いたしました。詳細を掲載いたしました。見学等を受け付けておりますので、ご興味のある方は直接事業所にお問い合わせください

事業所名（運営主体）	事業種別	事業所の方針・特徴
就労支援事業所TRYOUT (一般社団法人Life Commit)	就労継続支援A型	就労継続支援A型は、一般企業での就労が困難な方に、雇用契約を結びながら働く場を提供し、就労に向けたサポートも行います。 TRYOUTでは、「働きたい気持ちはあるけれど自分にできるか不安」「週5日働けるか心配」など、「働くこと」に関する悩みや希望と一緒に確認しながら、安心して働けるようサポートしています。
所在地・電話番号 〒185-0035 国分寺市西町3-15-5 国立駅よりバス10分 042-502-0181	代表者・実習担当者 施設長 松本 咲子 実習担当 松本 咲子	主な作業は清掃業務となります。清掃は成果が見えやすく、達成感ややりがいを感じられる仕事です。ご自身のペースで取り組みながら、できることを着実に増やしていくことができます。まずはお気軽にお問い合わせください。
作業内容	個別の事業所見学	その他(空き状況・他市受入・1日の流れ・行事・昼食など)
主となる仕事は清掃業務になります。国分寺市内の公園や緑地の清掃、市役所や建物内の清掃作業を行います。	見学をご希望の場合は、事業所まで直接ご連絡ください。 見学は随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。	定員：10名／利用者： 4 名 新規利用見込み： 若干名 他市生徒受入： あり 1日の流れ：登所 9：30～9：45 作業開始 10：00 昼食 12：00～13：00 退所 16：00 昼食：なし 行事：なし（必要に応じて実施する場合あり） 送迎：なし

高等部現場実習から見たこと

高等部3年生は進路先を「決める」実習を、高等部2年生は進路先を「探す」実習を経験しました。3年生については、卒業が迫り、進路先を決める時期になってきています。

様々な場所や職種を経験し、実習を通して自分の強みや課題に気づき、高等部卒業後の生活、つまり現実と向き合うこととなります。

学校を卒業し、社会の一員となるために、強みはさらに磨きをかけることが大切ですし、日常生活からそのことを意識して、強みを継続することが最も重要です。

進路先を決める際の課題については、個々で違いはありますが、今後意識してほしいことは、「コミュニケーション力を高めること」です。挨拶や返事が自分からできること、困ったときに自分から相談できることは、人間関係を構築するためにとても重要です。言葉で「おはようございます。」「こんにちは。」を言うこと、アイコンタクトやお辞儀や身振りで表現すること、できることからはじめ、習慣にしてほしいです。

ある実習先の担当者からいただいたコメントをご紹介します。

「人に慣れること」

初めての場所、初めての体験は誰でも緊張するものです。緊張感があっても、様々な人と接する経験を積んでおくことで、人見知りすることなく、関係性を早い段階で築くことができます。そのことから、互いに楽になる、ということです。それは現場実習に生かすことができ、さらに卒業後の進路先につなげることができます。

これから冬期休業に入ります。ご家族同士で言葉を掛け合いながら、大掃除をしたり、年末年始の支度をしたりすることが、小さなコミュニケーションの成長につながります。